

日本食糧新聞

The Japan Food Journal

マルエス、「いか天大王」年間出荷量新記録 9~12月17.5%増

水産加工 ニュース 2021.04.02 12209号 02面



【関西】おつまみや珍味などを製造販売するマルエスは3月29日、“ソフトあたりめフライ”「いか天大王（75g）」（=写真、希望小売価格税別400円）の、2020年度の年間出荷数量が新記録となる260万袋超を達成したことを発表した。さらに「日経POSセレクション2020売上ナンバーワン」に選出された。

同社は世の中を元気にすることを目的に80以上の企業が参加・協力した、関西発信のキャンペーン「#イマデキ」に参加。同社は「今、お客さまに何ができるかを考え、安心快適に家の中でも飲酒・食事ができるように、主力商品であるおつまみや珍味の生産拡大を進めた」とし、家飲みやオンライン飲み会の普及に貢献。その結果、今回の年間出荷数量の新記録達成につながった。20年9~

12月の出荷数は、前年比17.5%増と伸長した。結果として「日経POSセレクション」での記録につながった。

同品は、するめの胴部分のみを肉厚に伸ばし、薄い衣でフライしたソフトあたりめフライ。しっかりとしたするめのうまみと歯応えがぜいたくな本格いかフライで、揚げ油はキャノーラ油100%にこだわる。食べ切りサイズとなる小袋タイプは、内容量42g（同250円）も展開する。このほか、小袋タイプを五つセットにした「いか天大王 5袋入ビッグパック」、国産するめを使い、口溶けの良い衣でフライしたワンランク上の「こだわりプレミアム やわらかいか天大王」、ピリッと辛口の味付けの「辛口いか天大王」など、バリエーション豊かなあたりめフライをラインアップしている。（篠原里枝）